

学びを活かす 保育科生のボランティア活動 ～タートルクルこども館焼津カツオ SHOW てん・木育をはじめよう～

事業担当者

短期大学部保育科教授 遠藤知里 短期大学部保育科講師 木下藍

短期大学部保育科学生有志

目的・概要

短期大学部保育科学生は、短大での学びを生かしながらボランティアにも取り組んでいる。本報告では、焼津市にあるタートルクルこども館と連携して行った二つのボランティア活動について紹介する。

【①タートルクルこども館焼津カツオ SHOW てん】2021年10月23日

焼津駅前商店街を会場に、50cmのかつお型の板に、アーティストが思い思いのアートを施し、展示するアートイベントにボランティアとして参加した。子どもたちの描いた作品もアーティストの作品と一緒に飾られた。学生は木の魚釣りのコーナー、板に絵を描くコーナーにおいて子どもの援助を行った。

【②タートルクルこども館木育をはじめよう】2021年10月30日

レクリエーション論、レクリエーション援助法等の授業での学びを活かして、学生が企画・指導実践した。絵本の読み聞かせ・学生プログラム（葉っぱのこすりだし・落ち葉でコラージュなど）



【焼津カツオ SHOW てん 木の魚釣り】



【木育をはじめよう 葉っぱのこすりだし】

事業成果

ボランティアでの経験が短大での学修や実習へとつながっていく。今後も地域と連携しながら、学生が保育の学びを活かして社会貢献することを応援していきたい。